

神の終極の行動の中で終極の責任を担う(詩604、補809)

<p>I. 私たちは、世界の終極の情勢、神の終極の行動、神の終極の回復に関する終極の責任を担う必要があります:</p>	<p>A. 私たちの終極の責任は、キリストのからだ、すなわち一人の新しい人のためにキリストで浸透飽みされることです: エペソ 3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいませうに。 4:12 それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、 4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。 4:24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。</p>	<p>1. 私たちは福音を宣べ伝えること、神聖な真理を教えること、神によって定められた道にしたがって集会することに関して、私たちが持っている大きな責任を認識しなければなりません。しかしながら、私たちはこれら三つの事柄で満足すべきではありません。なぜなら、それらは神の願いを成就することができないからです。 マタイ 24:14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対す証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る。 28:19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、 2. 神の願い、神の大いなる喜びは、私たちがキリストを生き、キリストを召会生活の実際(真の内容)として持ち、あらゆる地方召会を金の燭台とすることです: ピリピ 1:21 なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。 2:13 なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内活動する神だからです。 啓 1:11 それはこう言った、「あなたが見ていることを巻物に書いて、七つの召会に、すなわち、エペソに、スミルナに、ペルガモに、テアテラに、サルデスに、ヒラデルヒヤに、ラオデキヤに送りなさい」。12 私は、私に語りかけたその声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台を見た。 3. 私たちの終極の責任は、日常生活においてキリストの生ける証し人となり、私たちの地方において集会することによって、私たちがからだ、新しい人、燭台、花嫁となることです。</p>	<p>a. このようにして、からだの生活はローマ第12章の実際に到達し、このことは自然に主の再来のために花嫁を用意します。 b. これが主の回復の目標です。世界情勢はこの目的のために用意されています。 啓 1:5 また忠信な証人、死人の中から最初に生まれた方、地上の諸王の支配者であるイエス・キリストからあるように。私たちが愛して、彼の血によって私たちが罪から解放し、 使徒 17:26 また彼は、一人からあらゆる国民を造り、地の全面に住まわせ、予定された時季と居住の境界を定められました。</p>
	<p>B. 私たちの終極の責任は、イエスの証しを担うことです: 啓 1:2 ヨハネは神の言とイエス・キリストの証し、すなわち自分が見たすべてのことを証した。9 私ヨハネは、あなたがたの兄弟であり、イエスにある患難と王国と忍耐と共にあずかっている者であるが、神の言とイエスの証しのゆえに、パトモスと呼ばれる島にいた。</p>	<p>1. 啓示録はイエスの証しを提示しています。それはキリストの団体的な表現としての召会です。 2. 啓示録はキリストを明らかにしており、キリストは召会を通して表現されます。ですから、召会はこの書の中で啓示されているイエスの証しです: a. イエスの生けるパーソンは、神のかたち、表現、証しです。今日、召会はイエスの証し、彼の団体的な表現です。Ⅱコリント 4:4 この時代の神は、彼らの中で、信じない者たちの思いをくらましてしまい、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、彼らの上に照らさせないようにしています。 b. キリストにある信者たちとして、私たちはみなイエスの複製、「写真」です。今や神は団体的な表現である召会を持っており、召会は神の表現であるイエスの証しです。 Ⅱコリント 3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。 エペソ 1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。</p>	
	<p>C. 私たちの終極の責任は、金の燭台としての地方召会を設立することによって、イエスの証しを広めることです:</p>	<p>1. 主の回復を広めることは、私たちの終極の責任の一部でなければなりません。 マルコ 16:15 イエスは彼らに言われた、「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。20 彼らは出て行って、至る所で宣べ伝えた。主は彼らと共に働き、また、しるしを伴わせることによって、御言を確かなものとされた。 ヨハネ 15:16 あなたがたが私を選んだのではない。むしろ、私があなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたが私の名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてくださるためである。使徒 18 しかし、聖霊があなたがたの上に臨む時、あなたがたは力を受ける。そしてエルサレムにおいても、ユダヤ全土とサマリアにおいても、また地の果てまでも、私の証し人となる」。</p>	

		<p>2. イエスの証としての召会の宇宙的な拡大のために、私たちは金の燭台としての「召会の木」を植えて、三一の神に団体的な表現を得ていただく必要があります： Iコリント 12 コリントに在る神の召会へ、すなわち、キリスト・イエスの中で聖別された者たち、召された聖徒たち、それと共に、私たちの主イエス・キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての者へ。彼は彼らのもの、また私たちのものです。</p>	<p>a. 私たちは召会を形成することはできませんが、地の果てまで行って召会の木を植えることによって地方召会を設立する地位、権利、機会、さらには使命を持っています。使徒 13:1 さて、アンテオケの地に在る召会には、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟 マナエン、サウロなどの、預言者たちと教える者たちがいた。2 彼らが主に仕え、断食していた時、聖霊が言われた、「さあ、バルナバとサウロを私のために選び分け、私が彼らを召した働きに当たらせなさい」。3 そこで、彼らは断食して祈り、二人の上に手を置いてから送り出した。</p> <p>b. 召会の木としての地方召会は金の燭台であり、金の燭台は実は生ける金の木です。</p> <p>c. しるしにおいて、金の燭台は三一の神の具体化また表現としての召会を表徴します。</p> <p>d. 私たちはみな、金の燭台である召会の木を植えることによって、地方召会を設立する必要があります。</p>
<p>II. 私たちは神の終極の行動の中で終極の責任を担うために、神の永遠のエコノミーにしたがって、神聖な行政の中心としてのキリストを認識し、経験する必要があります： 啓 4:2 直ちに、私は霊の中にいた。すると見よ、御座が天に据えられていて、その御座に座している方がおられた。22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。</p>	<p>D. 啓示録によれば、昇天したキリストが座している御座は、神聖な行政の御座です：</p>	<p>1. 小羊、贖い主、私たちの罪のために十字架上でほふられた方は、今や御座で全宇宙に対して神の行政を執行しています。</p> <p>2. 主イエスは御座に座して、宇宙において神の統治上の行政を執行しています：</p>	<p>A. キリストは昇天において御座に座しており、神の行政を、すなわち神の統治上の働きを執行しています。啓 3:21 勝利を得る者を、私と共に私の座に着かせよう。それは、私が勝利を得て、私の父と共に彼の御座に着いたのと同じである。</p> <p>B. 神の具体化としてのキリストは今日、宇宙の行政執行者です。天においても地においても、いっさいの権威が彼に与えられています。</p> <p>C. 主イエスが十字架につけられ、葬られた後、神は彼を復活させ、彼を神の右に座らせ、彼を全宇宙の主としました。ピリピ 2:8 人としての有り様で見いだされ、ご自身を低くして、死にまでも、しかも十字架の死に至るまでも従順になられました。9 それゆえに、神もまた、彼を高く引き上げ、そして、あらゆる名にまさる名を彼に与えられました。10 それは、天にあるもの、地上にあるもの、地下にあるものが、イエスの御名の中で、すべてひざをかがめるためであり、11 そしてあらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と公に言い表して、父なる神の栄光となるためです。</p> <p>a. キリストは神の宇宙的な統治における天の行政執行者として御座に座している方であり、地上の諸王の支配者です。諸国民の諸事は彼の支配の下にあります。</p> <p>b. 神の統治上の行政において、キリストは元首また救い主、ダビデのかぎを持つ方です。</p>
<p>III. 私たちは神の終極の行動の中で終極の責任を果たそうとするなら、小羊の行く所へはどこへでも従って行く必要があります： 啓 14:4 これらの者は、女によって汚されていない者である。彼らは童貞である。これらの者は、小羊の行く所へはどこへでも従って行く。これらの者は、神と小羊への初穂として、人々の間から買い取られたのである。</p>	<p>B. 私たちはみな小羊に従って、彼によって定められた行程を行くべきです：</p>	<p>1. 私たちは主が定めた行程を探し求めて、忠信にその行程を行き、どんな代価でも払って、一心に私たちの行程を進み続ける必要があります、ついに私たちは目標に到達します。 IIテモテ 4:7 私は良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。</p> <p>2. 主が私たちのために定めた行程は、私たちの前に置かれているレースです。 ヘブル 12:1 こういうわけで、こんなにも大勢の証し人である雲に囲まれているのですから、私たちも、あらゆる重荷と、いとも容易にまといつく罪をかなぐり捨てて、前に置かれているレースを、忍耐をもって走ろうではありませんか。2 私たちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめていなさい。彼はご自分の前に置かれた喜びのために、恥をもちとわなないで十字架を耐え忍び、そして神の御座の右に座しておられるのです。</p>	<p>A. 小羊に従って行くことは、十字架につけられ、復活し、昇天し、御座に着いた贖い主の行動において彼と一となって、神聖な行政を執行し、神聖なエコノミーを究極的に完成することです。</p>
<p>IV. 神の終極の行動の中で終極の責任を担うことは、忠信さを必要とします。こういいうわけで、私たちは忠信になるために、主にあわれみを求めるべきです。 Iコリント 7:25 童貞について、私は主の命令を受けてはいませんが、主のあわれみを受けて忠信である者として、私の意見を述べます。 マタイ 24:45 そこで、主人が家族の上に任命して、時に応じて彼らに食物を与える忠信で思慮深い奴隷は、だれであろうか？ 25:21 主人は彼に言った、『よくやった、良い忠信な奴隷よ。あなたはわずかな事柄に忠信であった。私はあなたに多くの事柄を管理させよう。あなたの主人の喜びの中に入りなさい』。23 主人は彼に言った、『よくやった、良い忠信な奴隷よ。あなたはわずかな事柄に忠信であった。私はあなたに多くの事柄を管理させよう。あなたの主人の喜びの中に入りなさい』。</p>			

②神の終極の行動と私たちの責任

クリスチャン生活における最も重要な事は、主が定めた行程を探し求めて、忠信にその行程に行くことです。今日の信者たちの間におけるあわれなことは、多くの人が、主が彼らのために定めた行程を見いだしていないということです。ある人は、それを見いだしても、その道を行きません。こういうわけで、彼らの生活は非常に多くの霊的な死、暗やみ、制限に満ちており、またこういうわけで、神の働きには非常に多くの争いと議論があるのです。私たち各自にとって最も重要なことは、神の御手に自分自身を置き、静まり、忍耐し、祈り、献身し、服従して、一心に彼の導きを尋ね求めることです。私たちは進んで彼に服従し、ただ彼のみこころにしたがって行動すべきです。私たちは、彼が私たちのためにあらかじめ定めた行程を、私たちに啓示してくださるようにと祈るべきです。この後、私たちはどんな代価でも払って、一心にそれを歩むべきです。

「走る」とは何でしょうか？「走る」とは、じっと立っていることを意味するのでもなく、ゆっくり歩くことを意味するのでもありません。それは、前に向かって速く走り、最も短い時間で最も長い距離を終えることを意味します。言い換えれば、それは速く走ることを意味しません。競走する人が多くいるので、冠を勝ち取りたいなら、他の人の前を走らなければなりません。私たちが勝利を得るか得ないかは、どれほど速く走るかにかかっています。もし私たちが時間を浪費し、ぐずぐずしているなら、必ず失敗するでしょう。

主の評価と褒賞は、私たちの働きの大さや量とは関係がなく、彼の賜物を最高に用いることでの忠信さと関係があります。(Ⅲ、B、1、2)

在職青年編:

あなたがビジネス・パーソンとして、会社においてどれだけ出世するか、あるいは、どれだけ収入を上げることができるのかは、主が予め決めておられます。クリスチャンは、主を表現し、主の中で統治するので、原則的にあなたが正常であれば、管理職になることを求めるべきです。しかし、どの程度の管理職なのか、リーダーなのか、マネージャーなのか、ディレクターなのか、役員なのかは、神の定めに従います。ですから、自分自身を神の御手に置き、静まり、献身を更新し、主の御声を聞き、服従することを学んでください。度量を超えて発展しようとする、とんでもない失敗を犯してしまいます。また、天然的にヘリクダッテ、自分の度量を制限することも、主に対する反逆です。更に、どの程度昇進するかだけでなく、いつ昇進するかについても、主に服するする必要があります。なぜなら、あなたがどれだけ責任を担えるかは、あなたの命の成長に依存しているからです。畏れとおののきをもって、自分自身の救いを成し遂げてください。

自分の与えられた度量に留まる中で、あなたは必ず走る必要があります。ぐずぐずして、時間を浪費してはいけません。前に向かって、早く走るべきです。走ることで実際に重要なのは、残業や休日出勤を適切に制限し、各種の集会に参加し、真理を追求し、福音を宣べ伝え、新人を養い、預言して召会を建造することです。もし、あなたのビジネス・ライフが出世のためにあるのであれば、それはもみ殻だけの空しい人生になってしまいます。あなたは出世するとしても、主の証しのため、召会建造のためでなければ、あなたの人の歴史の中に神聖な歴史が無くなってしまいます。ですから、ビジネス・ライフは副業あるいはもみ殻であり、召会建造が本業あるいはもみ殻の中の核なのです。

また、あなたが走るために、必ず兄弟姉妹と共に毎朝復興のため、約15分を費やして主を享受してください。あなたのビジネス・ライフが引き上げられるために、毎朝復興するかどうかは死活問題です。アーメン！

経験:①イエスは神の写真であり、召会、新しい人はイエスの写真である

人はただ神を表現するために、神のかたちに造られました。私たちは、神の表現としての人を写真にたとえてもよいでしょう。人の写真は、その人を礼拝し、彼のために働き、彼に仕えるものではありません。写真の運命は、ただ人を表現することです。人は神の「写真」です。神は人を創造したとき、ご自身の「写真を撮って」いたのです。写真の機能が人を表現するためであるように、人は神を表現するために造られました。しかしながら、人はまさにこの点において神に対して失敗しましたが、詩篇第 8 篇は、第二の人が来て、神を表現するという人の責任を回復することを私たちに告げています(4-6 節)。これが、イエスが達成したことです。イエスは、この地上にいる間、完全に神を表現しました。彼は神の実際の「写真」でした。

今や、この一枚の写真は複製されました。私たちはみなイエスの複製、「写真」です。ですから、今日神は団体的な表現である召会を持っており、召会は神の表現であるイエスの証しです。古い人アダムは神のかたちに創造されましたが、神に対して失敗しました。今や、召会は新しい人であり、神のかたちにしたがってキリストの中で創造され、神の表現としてのキリストを持っています。この表現はイエスの証しであり、それは啓示録においてまず諸地方召会となり、最終的に新エルサレムとなります。(Ⅰ、B、2、a、b)

中高生編:

人は神のかたちにしたがって創造されました。それはちょうど手袋が手のかたちにしたがって作られているのと同じです。手袋は手を入れ、手を表現します。同様に人に神のかたちがあるのは、神を人の中に入れ、人が神を表現するためです。最初の人アダムは、サタンの誘惑のゆえに墮落し、このことで失敗しました。しかし、第二の人イエス・キリストは、完全に神に依存し、神で満たされ、神を表現することで成功しました。

更に、主にある信者はキリストのからだの肢体、新しい人の構成要素です。エペソ 4:23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、24また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

コロサイ 3:11 その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

イエス・キリストは、個人的に神を表現することで成功しました。今、神は彼のエコノミーの中で更に前進し、団体的な新しい人がイエスの証しとなり、神を団体的に大きく表現する必要があります。このために、あなたは思いを霊につけ、神の成分があなたの再生された霊から、魂の中の思いの中に広らせる必要があります。この思いの更新が思いの霊の中で新しくされることであり、新しい人を実際的に着ることです。

召会の中には、様々な国々や、異なる社会的階級の中から召し出された人たちがいます。召会が一人の新しい人になるため、召された信者たちは、霊が再生された後、思いを霊につけることで思いが更新されるべきです。そうでないと、異なる文化の壁や社会的階級の壁等乗り越えて、神を団体的に表現する一人の新しい人を持つことはできません。学校の先生やクラスメイトとの人間関係において、勉強において、あなたの魂だけを用いて、魂を肥大させてはいけません。魂だけを使うことは、実はサタン、鬼と会話することです。魂という漢字は「鬼が云う」と書きます。そうではなく、あなたは霊を活用し、主の御名を呼び、思いを霊につけて、思いが神に服し、思いの理解力が引き上げられ、神のみこころを認識できますように。あなたの魂が神から独立しないようにし、神に依存するために、実際の生活の中で、必ず思いを霊につけることを徐々に学んでください。

ヨハネ5章のマイルストーン、無力の人の必要:命が生かす by 神大BSG OB/OG

- 1 この事の後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。
- 2 エルサレムには、羊の門の近くに一つの池があり、ヘブル語でベテスタと呼ばれていて、そこには五つの回廊がある。
- 3 これらの中に、大勢の病んでいる人、盲人、足の不自由な人、体の麻ひした人が横たわって、水が動くのを待っていた。
- 4 というのは、御使いがときどきその池に下りて来て、その水をかき立てたからである。水がかき立てられた後、真っ先に入り込む者は、患っていたどんな病も良くなったのである。
- 5 そこにある人がいて、三十八年間、病の中にあっただ。
- 6 イエスはこの人がそこに横たわっているのを見、また彼がすでに長い間その状態にあったことを知って、「良くなりたいたいか?」と言われた。
- 7 その病人は彼に答えた、「ご主人さま、水がかき立てられる時、私を池の中に入れてくれる人がいないので、私が行こうとしている間に、別の人が先に入ってしまうのです」。
- 8 イエスは彼に言われた、「起きなさい。あなたの床を取り上げて歩きなさい」。
- 9 すると、たちまちその人は良くなり、彼の床を取り上げて歩いた。その日は安息日であった。

「羊の門」は律法を順守する宗教の囲いの門を意味し、「ベテスタ」は「あわれみの家」を意味します。これは、人は無力で弱く悩める者であり、自分自身では律法を順守できず、神のあわれみが必要であることを示しています。ここの病んでいる無力な人には祭りの喜ばしい日でさえ、何の幸福もありませんでした。また、安息日でさえ、何の安息もありませんでした。

律法を守る宗教には、いやす手段がありました。ところが無力な人には、益になりませんでした。なぜなら彼には、律法の要求を満たす力がなかったからです。宗教的に律法を順守することは、人の努力、人の行ない、人の外側の装いにかかっています。人は無力ですから、宗教の律法を順守することができません。祭り、安息日、御使いたち、モーセはすべてこの宗教の良いものです。しかしそれらは、この無力な人のために、何もすることができませんでした。

人は無力なので、宗教や道徳教育などで、良い教えを聞いてもそれを実行することができません。統計によると、高学歴の人ほど離婚率が高くなります。だれも離婚を望み、子供を不幸にすることを願う人はいませんが、良い教えは人を離婚から救うことはできません。ローマ書7章の次の聖書を読んでください。

ローマ7:18 私は自分の中に、すなわち、自分の肉の中に、善なるものが住んでいないことを知っています。なぜなら、私は善をしようと欲するのですが、善を行なうことにはないからです。20 もし私が欲していないことを行なうなら、それを行なうのはもはや私ではなく、私の中に住んでいる罪です。

人の内側に住んでいる罪のゆえに、人は良い教えを好んでもそれを実行する力がありません。主の目には、人は罪人であり、また、無力な人です。続けて、ヨハネ5章を読んでください。

24 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。私の言を聞いて、私を遣わされた方を信じる者は、永遠の命を持っており、また裁きを受けることがなく、死から命へ移っ

ているのである。25 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。死人が神の子の声を聞き、そして聞く者が生きる時が来る。それは今である。

無力な人は命によって生かされることが必要です。主の言葉は人に命を与えることができます。主の生かすことには、何の要求もありません。主の救いにおいて、主イエスの方から、「良くなりたいたいか?」と尋ねられました。その無力な人は、彼の声を聞くと、生かされました。

以前には、床がその無力な人を運びました。しかし今、その生かされた人はその床を運びました。ここでの「床」とは、ネットゲーム、映画、酒、タバコ、ギャンブルなどです。救われる前、人はそれらの「床」によって支配されていました。救われた後、人は「床」を制御することができます。

日本のビジネス・パースンの多くは、通勤時の満員電車の中で暗い顔や陰険な顔をしています。また、大学生も就職活動が始まるとビジネス・パースンと同じように暗い陰険な顔になりがちです。だれもが喜びのある人生を送りたいと願っていますが、満員電車の多くの人は眉間にしわを寄せ陰険な顔をしています。人は嘆きや憂いを喜びに変える力がありません。無力な人の必要は宗教でも良い教えでもなく、命である主ご自身が人を生かすことです。主の命は、嘆きを喜びと賛美に変えることができるのです。

ヨハネ5章の次の御言葉を読んでください。

39 あなたがたは聖書を調べている。それは、その中に永遠の命があると思っているからである。しかし聖書は、私について証しをするのである。

40 しかしあなたがたは、命を得るために私に来ようとはしない。

「聖書を調べる」とこと、「私に来る」とことは、分けて考えられます。ユダヤ人の宗教家たちは聖書を調べましたが、進んで主に来ようとはしませんでした。この二つを一緒にすべきです。聖書は主について証しをしていますから、聖書と主を引き離してはなりません。私たちは聖書に触れても、主に触れないかもしれません。主だけが、命を与えることができるのです。

聖書を読む時重要なことは、自分の霊を活用して、祈りを持って、主と交わるために主の下に来ることです。また、読んだ聖書の言葉を用いて祈ってください。聖書はエペソ6章で、祈りと願いの手段によって神の言葉を受け取りなさいと言っています。6:17 …霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、…

最も良い祈りは、聖書の言葉を使って祈ること、祈り読むことです。聖書の中の真理は教理ではなく、実際です。ヨハネ17章17節は言います、「彼らを真理の中で聖別してください。あなたの言は真理です」。主の御言葉を祈り読みすることにより、あなたは真理をあなたの実生活に適用することができます。例えば、実生活の中で、弱さや無力さを感じた時、次のように祈ることができます。「主イエスよ、私は無力な人で、テスト期間中に集中して勉強することが難しいです。私に必要なのは単なる良い教えではありません。良い教えは私を生かすことができないからです。主イエスよ、私はあなたがたが必要です。あなたの命は、私を生かし、私を無力状態から救うことができます。主イエスの尊い御名の中で祈ります。アーメン！」

Hymns 841 (Japanese 381): Experience of Christ as Life

- | | |
|---|--|
| 1. Thou art all my life, Lord, In me Thou dost live;
With Thee all God's fulness Thou to me dost give.
By Thy holy nature I am sanctified,
By Thy resurrection, Vict'ry is supplied. | 4. Lord, Thy life abundant, Flowing, rich and free,
Constantly refreshes And empowers me.
Death by life is swallowed, Weakness is made strong,
All my bonds are broken, Gloom is turned to song |
|---|--|